

フォルダエクスポート

テーブルのデータを別のアプリケーションのファイルに書き出す

◇機能

《フォルダエクスポート》は、フォルダ内のテーブルを一括でExcelファイルまたはCSVファイルに書き出す機能です。

◇メニュー

《分析》-《フォルダエクスポート》

◇設定内容

1. フォルダ名 : エクスポート対象となるフォルダを選択します。

2. エクスポート形式 (必須)

: リストからエクスポートするファイルの種類を選択します。

➢ EXCEL : Excelファイルにエクスポートします。

➢ CSV : CSVファイルにエクスポートします。

3. 文字の引用符／エクスポートオプション

: 「エクスポート形式」で選択したファイル形式により、設定内容が変わります。

➢ 文字の引用符 : 「CSV」を選択した場合に表示されます。文字データに引用符をつけるかどうかを選択します。引用符を付ける場合は、「二重引用符」または「一重引用符」が選択可能です。


➢ エクスポートオプション : 「EXCEL」を選択した場合に表示されます。

・別々のファイルにエクスポートする : 別々のファイルでエクスポートします。

・一つのファイルにエクスポートする : 一つのファイルに別々のSheetでエクスポートします。

4. 保存先（必須） : エクスポートするフォルダ名を入力します。
- ファイルの保存先は、プロジェクトフォルダの「05_export」フォルダです。
- <ファイルの上書きについて>
- 保存先に同じ名前のファイルが存在する場合は、ファイルを上書きするか確認するメッセージが表示されます。
 - Excelファイルの場合は、ファイルの上書きを確認するメッセージで《はい》を選択すると（上書きを実行すると）、「ワークシート名」で指定した名前と同じ名前のワークシートが存在する場合は、そのワークシートを上書きします。同じ名前のワークシートが存在しない場合は、ワークシートを追加します。
5. 《実行》ボタン : 実行します。
6. 《キャンセル》ボタン : 実行せず画面を閉じます。

◇実行結果の画面

フォルダエクスポート	
日時	2024/12/16 18:41:41
フォルダ	110_フォルダエクスポート
コマンド	FOLDEREXPORT UNICODE DELIMITED TO "110_フォルダエクスポート" SEPARATOR "," QUALIFIER "" FOLDERPATH "110_フォルダエクスポート"
出力テーブル件数	7件
保存先	C:\Users\hiroki.inoue\Desktop\【動作確認テスト】新機能\05_export\110_フォルダエクスポート\110_フォルダエクスポート
ファイルの場所を開く	 「ファイルの場所を開く」のボタンから保存先のフォルダを開くことができます。

◇操作ログ

- エクスポート形式がEXCELの場合

FOLDEREXPORT EXCEL TO “ファイルパス¥ファイル名” エクスポートオプション “フォルダ名”

※エクスポートオプションにより記述が変わります。

選択したエクスポートオプション	ログ
別々のファイルにエクスポートする	COMPILE
一つのファイルにエクスポートする	SEPARATE

- エクスポート形式がCSVの場合

FOLDEREXPORT UNICODE DELIMITED TO “ファイルパス¥ファイル名” IF 条件式 SEPARATOR “,” QUALIFIER 文字の引用符 FOLDERPATH “フォルダ名”

※エクスポート形式がCSVの場合、「文字の引用符」の選択により、「QUALIFIER」の後の記述が変わります。

選択した「文字の引用符」	ログ
二重引用符	""""
一重引用符	''''
なし	NONE